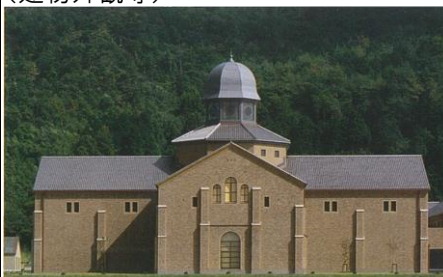
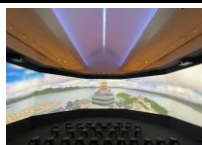
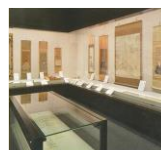


指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和7年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)		滋賀県立安土城考古博物館				
HPアドレス		https://azuchi-museum.or.jp/		(建物外観等)   		
電話番号		0748-46-2424				
所在地		近江八幡市安土町下豊浦6678				
設置目的		「郷土の文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって県民文化の向上に資するため」(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定)				
所 管		部局	文化スポーツ部			
		課等	文化財保護課			
設置年月		1991.04.01				
土 地		敷地面積	67,836.50㎡	避難所指定等		指定なし
		市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等		指定なし
		用途地域	-	文化財指定		指定文化財収納施設
建 物		延床面積	8,006.17	再生エネルギー等		特になし
		取得価額	3,240,054,000	自家発電設備		無
運 営		運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	有
		運営時間	9:00~17:00		多目的トイレ	有
		休館日	月曜日、年末年始、メンテナンス時		オストメイト対応トイレ	有
駐車台数		普通車 70 台、大型車 13 台			車いす使用者用駐車場	4台

特記事項
指定管理者:公益財団法人 滋賀県文化財保護協会
令和7年3月18日に展示リニューアルオープン。

施設概要

[illegible]

指定管理者管理運営状況（令和4年度～令和7年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R7年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R6年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R5年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R4年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度

成果情報	R4	R5	R6	R7	備考
利用可能日数(単位:日)	303	309	222	306	
年間利用人数(単位:人)	27,563	39,542	20,611	38,060	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	91.0	128.0	92.8	124.4	
年間収入(単位:円)	15,352,803	20,514,179	9,709,540	24,767,446	
1日あたり収入(単位:円/日)	50,669	66,389	43,737	80,939	

収入・支出実績 (単位:円)	R4	R5	R6	R7	備考
収入①	154,595,755	160,074,045	153,133,896	167,528,056	
施設利用収入	11,237,530	15,917,900	7,204,040	19,140,620	
指定管理料	137,891,884	138,099,000	141,842,000	141,178,000	
その他収入	5,466,341	6,057,145	4,087,856	7,209,436	
支出②	161,229,442	160,203,771	154,205,719	168,662,196	
人件費	68,710,513	67,909,615	69,571,300	73,729,455	
施設管理費	72,532,703	76,683,002	77,375,644	80,369,894	
事業費	19,986,226	15,611,154	7,258,775	14,562,847	
収支 ①-②	-6,633,687	-129,726	-1,071,823	-1,134,140	

モニタリング実施状況（令和7年度）

報告書の別	内 容
年度報告	年次事業報告（令和8年4月報告）
月例報告	月例業務報告書（毎月報告）
実地調査	令和7年10月、令和8年3月 実施
実地調査等の概要	【令和7年10月】 指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施 安全の確保、法令等の遵守、利用の拡大・サービスの向上その他の管理業務の効果の向上を図る取組、管理業務を適切に実施するための体制等について、書類や従業員ヒアリング等により確認した。 管理業務は適正に実施されていることを確認するとともに、意見交換を行った。 【令和8年3月】 令和7年10月と同様に実地調査を実施 管理業務は適正に実施されていることを確認するとともに、意見交換を行った。 【その他】 年次事業報告書、月例業務報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	特別展、企画展の利用者満足度調査を来館者に実施
実施内容	入館者へのアンケート調査
調査結果	・アンケート調査の結果、展示の満足度について、満足、ほぼ満足を合わせて春季特別展で97%、秋季特別展で96%、夏季企画展で98%、冬季企画展で83%となっており、利用者はおおむね満足しているデータとなった。 【アンケートの主な声】 ・展示品、パネル展示とともに充実しており大変勉強になった。安土城跡と一緒にみることでより理解が深まった。 ・貴重な展示品が多数あり、想像以上だった。 ・学芸員の解説が分かりやすく、対応も親切だった。 ・新しくできたシアターが迫力があって良かった。シアター観覧は1回でよい。 ・第2展示室が暗く少し見づかった。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・令和2年度に策定した滋賀県立安土城考古博物館展示基本計画において、「安土城・信長・戦国」をテーマとする展示リニューアルを行うものとされたことを受け、令和6年度には第1常設展示室に係る第1期展示リニューアルを行い、おおむね好評を得ている。

・また、令和7年から令和8年にかけて、安土城築城450年祭関連の展示等を行うなど展示においては、時期を捉えた工夫を行っている。

・一方で人件費や光熱費をはじめとした物価高騰により施設管理費等が増加し、その対応として事業費を削減せざるを得ない状況にあり、依然として経営は大変厳しい。

・開館から30年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、修繕費が増嵩し、運営を圧迫していることから、大規模な設備改修や展示見直しが喫緊の課題となっている。令和7年度には、中央監視装置監視用パソコン等の交換を行ったが、今後とも、長期保全計画等に基づいて、計画的に設備等の更新を行っていく必要がある。